

【目 標】

◆「技術分野の目標」

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

◆「家庭分野の目標」

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

【3年間の学習内容】

「技術分野」

- A 材料と加工に関する技術
- B エネルギー変換に関する技術
- C 生物育成に関する技術
- D 情報に関する技術

「家庭分野」

- A 家族・家庭と子どもの成長
- B 食生活と自立
- C 衣生活・住生活と自立
- D 身近な消費生活と環境

【評価の観点・方法】

(1) 「生活や技術への関心・意欲・態度」 (関)

積極的に取り組む意欲や態度を重視し、工具の扱いや準備・整理・片付けなど実習の計画性や積極性に関すること、毎時間の学習の取り組み状況、作品の進捗及び提出状況、学習ノートやレポートなどで評価します。

(2) 「生活を工夫し創造する力」 (創)

習得した知識や技術を積極的に活用し、生活を工夫したり創造したりする能力を定期テスト、作品、レポートなどで評価します。

(3) 「生活の技術」 (技)

作品の製作や実習を通して、基本的な技術が身についたかどうか、また、その技術を生活に生かしていくことができるかを学習過程における技術の習熟度状況、完成するまでの作品や実習での実技テスト、実習レポートなどで評価します。

(4) 「基本的な生活の知識・理解」 (知)

実践的・体験的な学習活動を通して、基本的な知識を身につけているか、生活との関わりを理解できているか、定期テスト、レポートなどで評価します。

技術分野第1学年指導・評価計画

	学習指導要領の項目	実 習	評価項目
1 学 期	技術科ガイダンス（3年間の学習内容などの説明） A材料と加工に関する技術 (1) 生活や産業の中で利用されている技術について知る。 ア技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている 役割について知る。 イ技術の進展と環境との関係 (2) 材料と加工法 ア材料の特徴と利用方法 (3) 材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作 イ構想の表示方法と、製作図	期末考査 ノート提出 JW-CAD実習	知・関 関・技
2 学 期	等角図，（キャビネット図），寸法補助記号を用いた製図の実習 (3) ア使用目的や使用条件に即した機能と構造 (2) イ材料に適した加工法と，工具や機器の安全な使用 (3) ウ部品加工，組立て及び仕上げ	CAD実習つづき 製図実習（等角図, キャビネット図 第三角法） 木製品製作実習 期末考査 ノート提出	関・技 （知） （知） 技 技・創 知・関
3 学 期	(3) ウ部品加工，組立て及び仕上げ (2) ウ材料と加工に関する技術の適切な評価・活用	組立 塗装 レポート提出 期末考査	技 関・創 知

技術・家庭科（技術分野）家庭学習のてびき

学習は授業中心で十分です。授業中に集中して聴く習慣をつけましょう。テスト前には必ず教科書・ノートを持ち帰り復習してください。授業中にほとんど漏らさず習得できればテスト前はかなりゆつたりと復習できるはずです。

最新の産業技術や伝統的な技術に関するニュース，また身のまわりの製品の素材や工夫されている点について関心をもって生活することで自然に身につく知識もあるはずです。

週1時間の授業ですので，1つの忘れ物で実習がかなり遅れてしまうこともあります基本的な習慣をしつかりとつけましょう。

（技術分野の教科書・ノートはテスト一週間前を除き学校に置いていても結構です。）